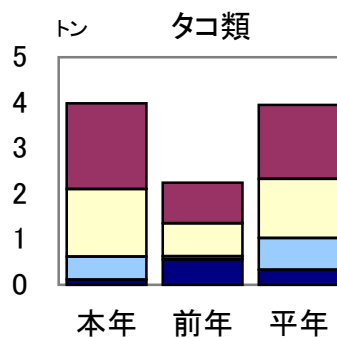
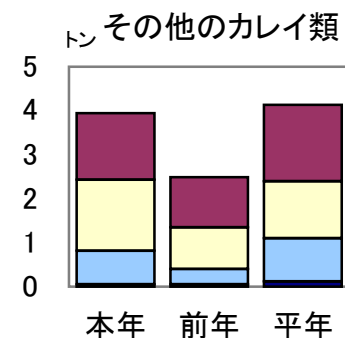
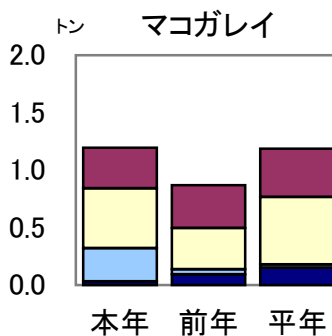
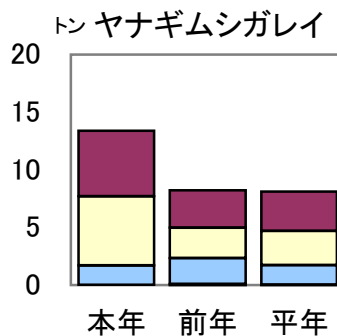
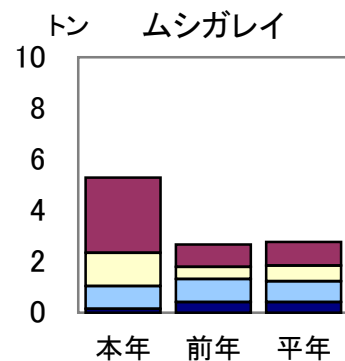
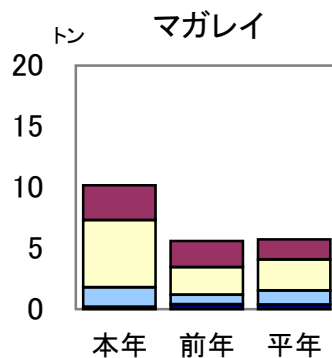
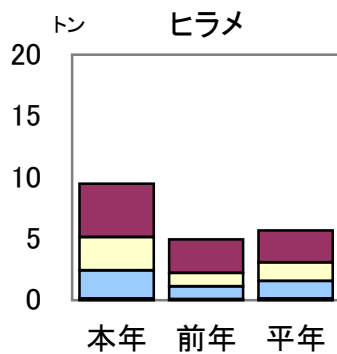


## ◎板曳網 新潟県内主要地区の水揚量(平成19年11月分)

単位:トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北町		4.37	2.88	2.95	5.70	0.35	1.51	1.88
岩船		2.70	5.52	1.31	6.00	0.52	1.62	1.49
新潟		2.29	1.61	0.89	1.69	0.29	0.77	0.50
佐渡(二見)		0.13	0.18	0.15	0.01	0.03	0.05	0.12
計		9.49	10.19	5.30	13.40	1.19	3.95	3.99
前年		4.94	5.60	2.68	8.23	0.87	2.49	2.25
5年平均		5.68	5.73	2.77	8.12	1.19	4.13	3.95



山北  
 岩船  
 新潟  
 二見

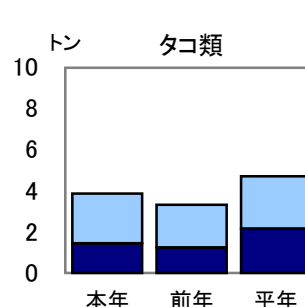
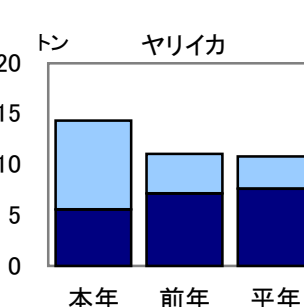
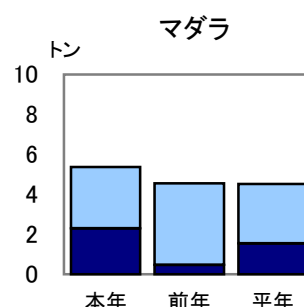
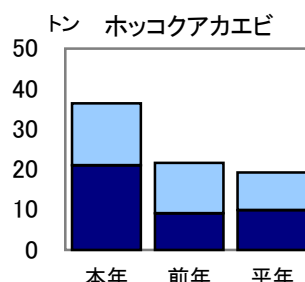
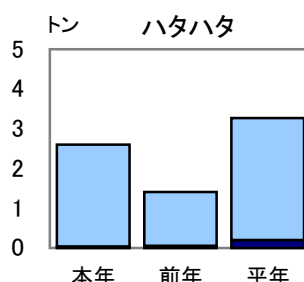
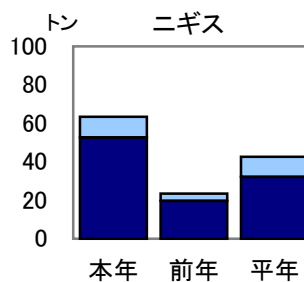
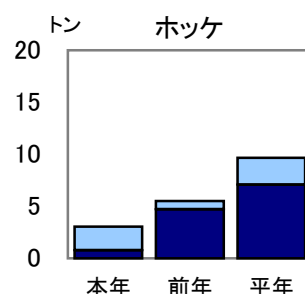
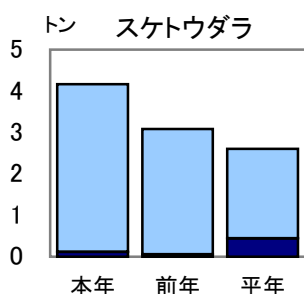
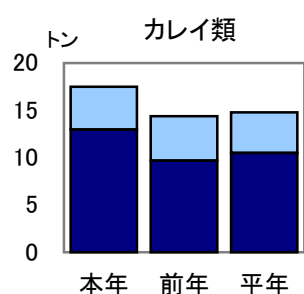
・11月の延べ出漁隻数は前年より3割程度増加しました。  
 ・主要4地区の総漁獲量は98トンで前年比151%、金額でも同158%となり前年を上回りました。  
 ・ヒラメ、マガレイ、ムシガレイ、ヤナギムシガレイは、前年及び平年の1.5~2倍の漁獲があり、特にヒラメは9月以降好漁が続いています。  
 ・タコ類、その他のカレイは平年並でしたが、前年に対しては1.5倍の漁獲がありました。

◎底曳網 新潟県内主要地区の水揚量（平成19年11月分）

単位：トン

地区	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北町	2.21	2.24	0.55	3.68	1.93	0.29	0.82	1.57	8.44
岩船	1.74	1.38	1.70	5.83	0.60	0.05	1.20	0.63	0.13
新潟	0.60	0.43	0.01	1.22	0.04	15.09	1.05	0.23	0.19
出雲崎	1.93	0.07	0.32	6.18	0.00	-	0.35	0.52	0.91
名立	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.86	0.05	0.04	0.00
上越(筒石)	8.99	0.02	1.24	29.47	0.01	0.02	1.83	0.62	3.13
上越(能生)	1.72	0.02	0.41	16.97	0.02	12.12	0.03	0.20	1.52
上越(糸魚川)	0.15	0.01	0.04	0.00	0.00	7.02	0.03	0.06	0.00
計	17.51	4.17	4.27	63.35	2.60	36.45	5.36	3.87	14.32
前年	14.40	3.08	5.52	23.51	1.41	21.60	4.55	3.33	11.06
5年平均	14.78	2.61	9.67	42.64	3.27	19.21	4.52	4.71	10.80

山北町～新潟      出雲崎～糸魚川



- ・11月の延べ出漁隻数は、前年比107%でした。
- ・主要8地区の漁獲量は248トンで前年比134%、金額でも同102%となり前年を上回りました。
- ・北部ではヤリイカ、南部ではニギス、ホッコクアカエビ、カレイ類が前年及び平年を上回りました。
- ・ハタハタは不漁となった前年を上回りましたが、平年比では80%でした。12月に入り上越海域で子持ちのハタハタが見られてきましたが、小型魚(2歳魚)が主体となっています。
- ・その他の主な魚種(全漁法集計)では、アカムツが前年比131%、アンコウが同89%でした。
- ・昨シーズンのマダラは、資源が豊富な上に天候に恵まれたため大豊漁となりました。今シーズンは、前年の半分程度に減少するものの、4kgサイズを主に平年並みの漁獲が見込まれます。

# 漁海況情報 (漁況)

発行  
新潟県水産海洋研究所  
新潟市西区五十嵐3の町13098-8  
TEL:025-261-2044

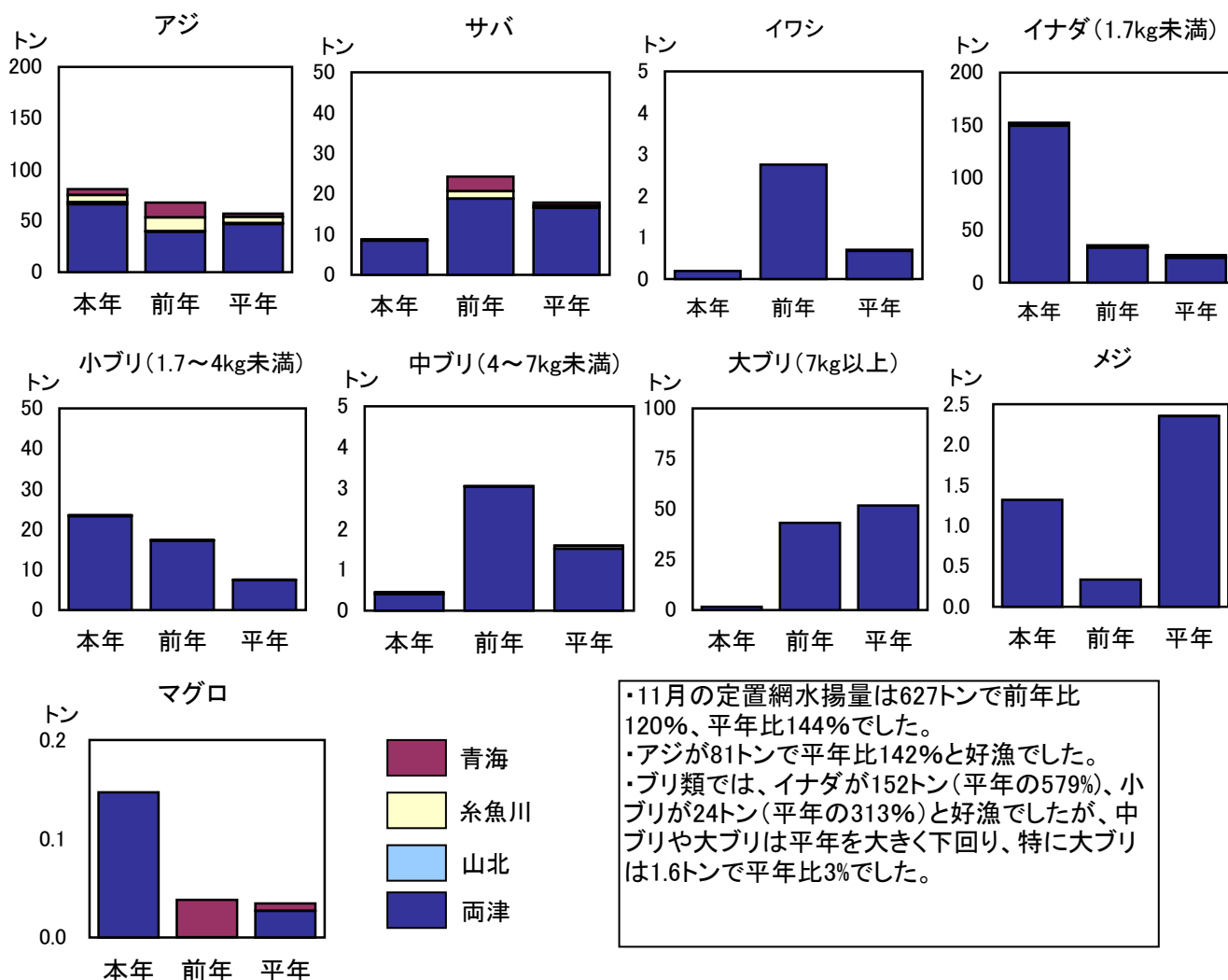
第428号 平成19年12月発行

## ◎定置網 新潟県内主要定置網の水揚量(平成19年11月分)

単位:トン

魚種 地区	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	66.1	8.4	0.2	149.2	23.3	0.4	1.6	1.32	0.1
山北	1.9	0.1	0.0	1.0	0.1	0.0	0.0	0.00	0.0
青海	5.9	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
糸魚川	7.1	0.2	0.0	1.1	0.2	0.0	0.0	0.00	0.0
計	81.0	8.8	0.2	152.3	23.5	0.5	1.6	1.32	0.1
前年	67.8	24.2	2.8	35.6	17.4	3.0	43.2	0.34	0.0
5年平均	57.2	17.8	0.7	26.3	7.5	1.6	51.9	2.36	0.0

魚種 地区	シイラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	14.0	7.9	0.0	0.7	0.0	2.7	0.0	134.2	410.4
山北	0.0	127.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.2	133.5
青海	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	3.2	16.9
糸魚川	0.1	44.6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	10.9	65.7
計	14.1	186.6	0.0	0.7	0.0	3.9	1.3	150.6	626.5
前年	0.3	232.5	0.0	3.4	0.4	4.3	0.4	88.3	524.1
5年平均	3.8	167.5	0.0	2.1	0.2	2.3	0.4	92.7	434.4



◎旋網(平成19年11月分)

単位:トン

港	魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新潟		66.6	925.2	17.9	9.0	0.2	11.9	1,030.9
柏崎		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
寺泊		44.2	18.5	12.0	0.0	0.0	0.0	74.7
計		110.8	943.7	30.0	9.0	0.2	11.9	1,105.6
前年		68.6	243.0	0.9	11.3	39.9	10.8	374.6
5年平均		209.7	452.8	0.8	138.7	70.8	6.2	879.0

- ・11月の旋網の合計は879トンで前年比295%でした。
- ・サバ、イワシは先月に引き続き前年を大きく上回っています。

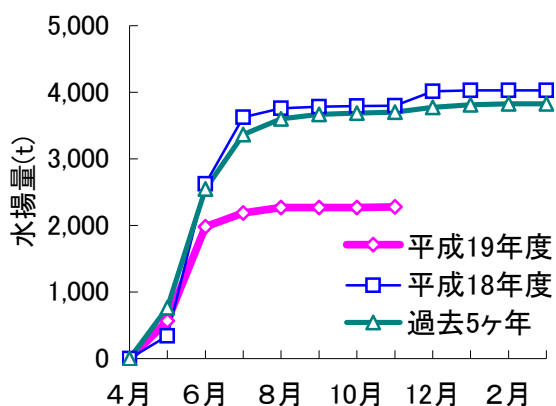
◎イカ釣 県内主要地区の水揚量(平成19年11月分) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北町	0	0.0
新潟	0	0.0
両津	41	5.8
計	41	5.8
前年	33	4.0
5年平均	59.2	19.0

隻数:操業した延べ隻数

- ・11月は両津のみの水揚げで5.8トンの前年比145%、前年比30.5%でした。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎近県の漁況・・・カッコ内の数字(%)は前年同月比(石川県は前年同旬比)

山形県(11月:操業延隻数前年比115%)

底曳網:タイ類24トン(232%:前年比164%)、マガレイ5トン(82%:前年比114%)、ハタハタ32トン(51%:前年比95%)

はえなわ漁業:マダラ21トン(79%:前年比139%)、サワラ23トン(137%:前年比455%)

富山県(11月下旬)

ソウダガツオ(定置網):684トン(257%)、ブリ類6トン(37%)、アオリイカ37トン(154%)

ベニズワイガニ(その他の漁業):34トン(145%)

石川県(12月上旬)

定置網:アオリイカ29トン(173%)、アジ類48トン(130%)、ブリ4トン(289%)、サワラ12トン(442%)

刺網:マダラ1.8トン(193%)

底曳網:ニギス35トン(229%)、アンコウ10トン(167%)、アカガレイ15トン(75%)